

2026 年度第 1 回研究助成委員会 議事要録

日 時 2026 年 5 月 29 日（金）13 時 30 分～14 時 17 分
開催方法 オンライン会議
出席者 平井 光世（立教大学）、高島 祐子（関西学院大学・会長校）、
渡来 達也（中央大学）、黒崎 知洋（東洋大学）、辺見 学（文教大学）、
上畠 宏美（福岡大学）、佐藤 隆之（大阪商業大学）、
宮杉 浩（京都外国語大学）
陪 席 服部 耕一郎（関西学院大学・会長校事務局）

配付資料

| | |
|---|------------|
| 研究助成委員会委員一覧（2026 年度） | 報告事項 1_① |
| 私立大学図書館協会研究助成規程 | 報告事項 1_② |
| 研究助成の審査にあたっての研究助成委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項 | 報告事項 1_③ |
| 研究助成委員会 審査ガイドライン | 報告事項 1_④ |
| 2025 年度研究助成特別会計決算 | 報告事項 2_① |
| 2026 年度研究助成特別会計予算 | 報告事項 2_② |
| 2025 年度研究助成委員会活動報告について | 報告事項 4_① |
| 2026 年度第 4 回研究助成委員会 議事要録・懇談事項記録メモ | 報告事項 4_② |
| 2026 年度活動方針について | 報告事項 5 |
| 「委員会活動費」運用内規、申請書 | 報告事項 6_①・② |
| 2027 年度研究助成（2026 年度申請）について | 協議事項 1_①～⑩ |
| 今後のスケジュールについて（案） | 協議事項 2 |

[はじめに]

委員自己紹介

平井委員長より開会の挨拶があり、2026 年度から着任した委員もいるため、各委員から自己紹介があった。

[報告事項]

1. 2026 年度研究助成委員会について

平井委員長より、配付資料（私立大学図書館協会研究助成規程、研究助成の審査にあたっての研究助成委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項、審査ガイドライン）にもとづき、研究助成委員会の概略と活動内容が説明された。研究助成の目的を共有し、2026 年度も募集および審査を実施したい旨の説明がなされた。

2. 2025 年度研究助成特別会計決算および 2026 年度予算について

平井委員長より、配付資料にもとづき説明がなされた。本件については、2026 年度第 1 回常任幹事会で承認されており、本委員会では報告となる。研究助成特別会計予算の位置づけとしては、協会の予算は一般会計と特別会計に分かれており、研究助成委員会の会計は特別会計として計上されており、繰越金も含め独立して決算される予算である。また、助成金は単年度あたり 60 万円以内と定められている。なお、2026 年度は研究助成の対象がないため、助成金予算は 0 円であることが共有された。

3. 2024-2025 年度研究助成報告書および発表について

平井委員長より、2024-2025 年度研究助成『源氏物語』鎌倉期写本の書誌的調査及び解題目録（個人研究・天理大学附属天理図書館・高橋氏）について、2026 年 3 月をもって研究期間が終了し、期日までに報告書が提出されたことが共有された。報告書は協会 Web サイトに掲載されているほか、2026 年度の総会・研究大会で研究成果の発表を行うこととなっている。

4. 2025 年度研究助成委員会活動報告について

平井委員長より、配付資料にもとづき、委員会活動および現状と課題等について説明がなされた。併せて 2025 年度第 4 回研究助成委員会 議事要録および懇談事項記録メモが共有された。

- ・近年応募件数の減少もあり、応募促進の取り組みを共通の課題として活動を行った。7 月・8 月の事前告知やメール配信、チラシの作成、追加募集の実施検討等の対策をとった。結果として、追加募集を実施したが応募はなかった。
- ・課題としては、研究助成に関する情報提供の充実のほか、昨今の図書館を取り巻く環境の変化等により、従来型の「研究助成」への応募が難しくなっているといった状況もあり、将来的に制度の再構築が必要との認識が共有された。

5. 2026 年度活動方針について

平井委員長より、配付資料にもとづき説明がなされた。資料は、当協会全体の事業計画である。研究助成委員会については、「応募の減少、および応募が無い状態が続いている。応募の促進について引き続き議論を行う。」と記載されており、2026 年度もこの方針に沿って活動を進めたい。

6. 「委員会活動費」運用内規と申請書

平井委員長より、配付資料にもとづき説明がなされた。2025 年度に改正が承認された「委員会活動費」運用内規と、改正に伴い変更された申請書を共有する。今年度、対面にて会議を開催する場合に必要となる資料であり、特に申請書の下部に記載のある交通費補助に関する項目について確認いただきたい。

7. その他
特になし。

[協議事項]

1. 2027 年度研究助成（2026 年度申請）について

平井委員長より、配付資料にもとづき説明がなされた。

- ・「2027 年度【2026 年度申請】研究助成応募要領」等については、ほぼ前年度を踏襲し、年度表記と募集開始、締切日の日付を更新した程度である。なお、昨年度は締切日を「金曜日（必着）」としたが、郵便物到着の最終確認のために週をまたぐこととなるため、今年度は締切日を「水曜日（必着）」とし、その週の金曜日には最終確認ができるようにしたい。
- ・昨今の応募状況を鑑み、あらかじめ事前告知と追加募集の実施についても検討しておきたい。昨年度と同様、事前告知 2 回と、通常の募集期間に応募が無かった場合、追加募集を行うこととする。スケジュールは資料（案）のとおりである。

協議の結果、募集に関する書類、チラシ案、および募集期間について承認された。

2. 今後のスケジュール（案）について

平井委員長より、配付資料にもとづき、以下の説明がなされた。

研究助成委員会は、おおむね例年どおりのスケジュールとした。申請があった場合、第 2 回委員会において研究助成の審査を行い、以降はメール会議を含め、必要に応じて委員会を開催することとしたい。また開催方法は、審査を行う第 2 回については、ハイブリット開催の可能性も含め、原則として対面会議を開催したい。なお審査の結果は、2027 年 3 月 5 日開催の第 2 回東西合同役員会に提出し、協議される。まずは今後の委員会の開催方法、およびスケジュールについて意見をいただきたい。

協議の結果、対面会議の開催方法を含め、今後のスケジュールについて承認された。

3. その他
特になし。

以上